

レクシスネクシス コンプライアンス診断キャンペーン

– レクシスネクシスのコンプライアンスサーベイは
このようなステップで行います–

1. サーベイ用質問セットのご提示

- レクシスネクシスの持つサーベイの質問セットをご提供し、全体の流れをご説明します。
- 基本の質問セットは、以下の2カテゴリで構成されます。
 - ① コンプライアンス感度測定質問:インテグリティ、心理的安全性、不正の動機、不正の機会、不正の正当化等、従業員個人の行動傾向を測る
 - ② ルール理解度測定質問:企業に関連する特定の法規制、行動規範等の内部ルールに関する理解度を測る

2. 回答者の属性区分等の確認・ご相談

- 回答される方々をどのようにグループ分けするか(組織の単位、職位、職種等)をヒアリングさせていただきます。
- 回答社に送る質問内容を確定します(基本セットからの選択・調整)。

3. オンラインシステムからの回答

- 質問を回答者の皆様へ送り、ウェブサイト上でご回答いただきます。

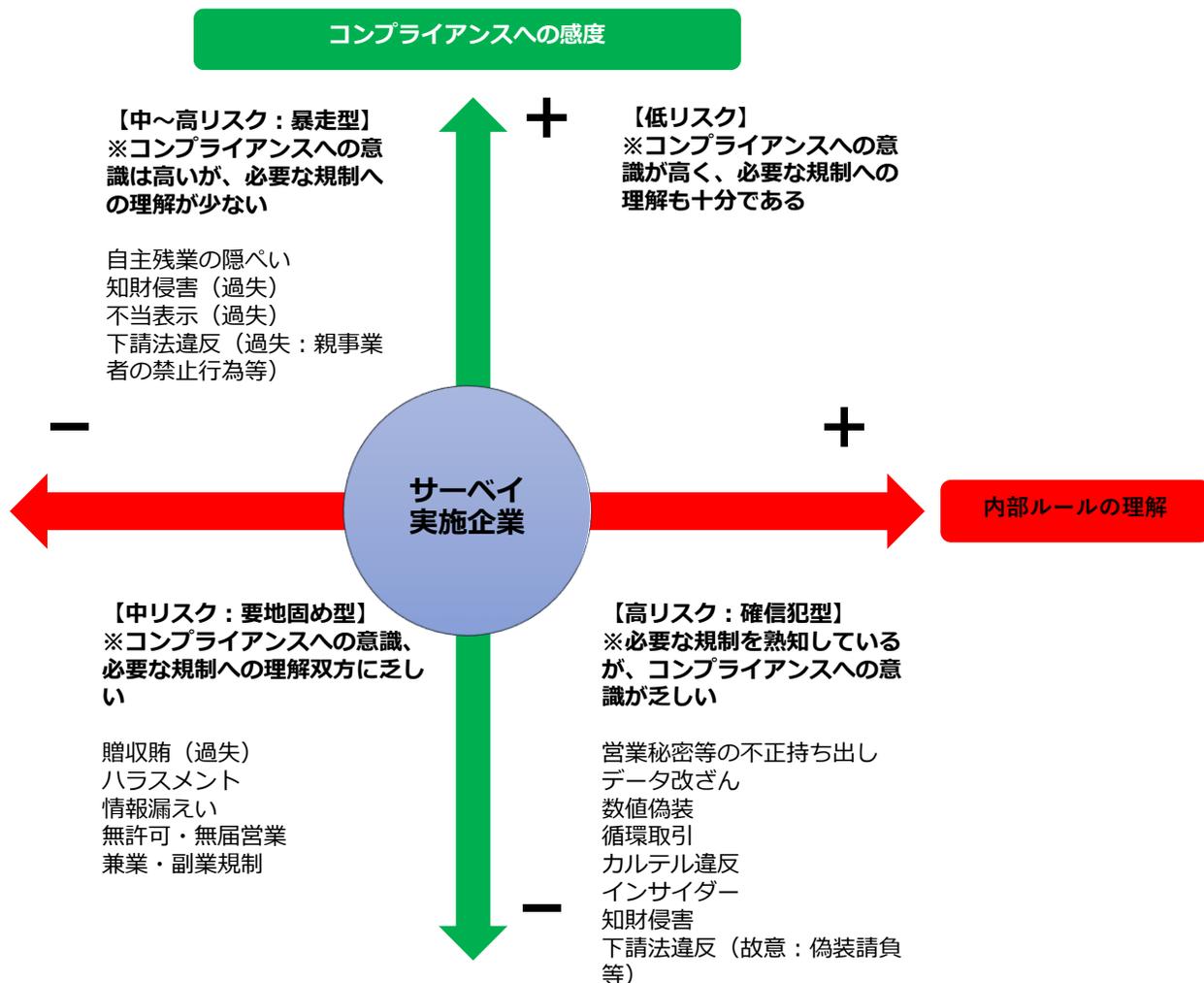
4. 回答結果の集計・分析・報告書作成

- システムから抽出した回答データを集計し、質問のカテゴリおよび回答者属性による傾向を分析して、報告書にまとめ、ご提出します。

レクシスネクシス コンプライアンス診断キャンペーン

－ コンプライアンスリスク傾向の可視化 －

レクシスネクシス・ジャパンのコンプライアンスサーベイでは、「コンプライアンスへの感度」と「内部規則の理解」の2軸による分析で、企業が抱えるさまざまなコンプライアンスリスクを可視化し対処方法をご提案します。



レクシスネクシス コンプライアンス診断キャンペーン

－「法令遵守」から「社会的要請への対応」－

近年においては、価値観の多様化や情報化の進んだ社会を背景として、企業コンプライアンスの捉え方が変化してきています。

情報化が進んだ社会においては、法令や規則等のルールに違反していなくとも、顧客などの消費者、株主、取引先、企業員を始めとするステークホルダーの視点から、企業活動に不適切な面が見られる場合には、社会の厳しい批判を受け、レピュテーションが毀損されるリスクが高くなっています。このようなリスクを回避するという観点から、企業は、法令や規則等のルールだけではなく、企業倫理の遵守も含めた社会的な要請に的確に応えることが求められています。

■企業が抱えるリスク一例

【働き方改革関連】

- ・残業時間の上限規制違反
- ・同一労働同一賃金等の処遇問題
- ・兼業、副業規制
- ・ダイバーシティ 等

【海外リスク】

- ・贈収賄
- ・独禁・競争法、カルテル
- ・情報プライバシー(未公開情報の漏洩等)
- ・奴隷法違反 等

【情報セキュリティ関連】

- ・機密情報の漏洩
- ・個人情報流出
- ・サイバー攻撃
- ・SNS対策 等

【その他リスク】

- ・データ改ざん(検査不正)
- ・環境法違反
- ・品質不正
- ・取引先の不正取引に巻き込まれる 等